



「脳が活性化する学び」

校長

「脳が活性化する学習方法は？」と問われたらどうお答えになりますか。

医学博士の川島隆太氏は次の3つの場面で脳の活性化（血流）の比較検証を行いました。

- ・携帯電話で、メール文を作る（打つ）。
- ・パソコンで、メール文を作る（打つ）。
- ・手書きで手紙を書く。

この結果、手書きで手紙を書く際には、携帯電話やパソコンとは比較にならないほど圧倒的に脳が活性化していたそうです。

また、読むなら「黙読」より「音読」の方が、脳が活性化することも明らかになっています。

手書きも音読もやや面倒に思える手段ではありますが、こうした作業を通してこそ脳が活性化するのだといわれると、思い当たる節もあります。

私自身も、実際に文章を手書きする際は、あらかじめ何をどのように書こうか考えを巡らせます。パソコンのデリートボタンのようにすぐ消すことができないので、準備をしておかなければという必要感が高まります。そして、紙幅に収まるように字の大きさや形に注意しながら書き始めます。これら一つ一つの細かい信号が脳に送られ手書きが実現しているのだとしたら、脳と実際の動作の間には何度も信号の往復があり、脳が活性化するのは容易に想像できます。

また音読については、例えば全校朝会の前に、準備した原稿を声に出して確認すると、ミスに気付いたり、言い回しの工夫をしたくなったりします。これは、黙読だけでは気付きにくい感じがします。

学校でのこどもたちの学習の様子を見ても、新出漢字を繰り返し書いて覚えたり、教材文を音読してその場面を具体的にイメージしたりすることで、学びを深めています。

ちなみに、中央教育審議会のデジタル教科書推進ワーキンググループの調査によると、多くの教育関係団体が紙とデジタルの両方の特徴を生かせるよう併用を続けることを求めたそうです。

今後さらに進むであろう情報化社会に対応できる力をこどもたちが身に付けるためには、デジタルを活用した効率的な学習方法の習得はもちろん、自分の頭でじっくり考え、試行錯誤しながら粘り強く学ぶ力の習得がさらに重要となるでしょう。その中で、指導者は、学びがもつそもそもの意味を見失うことなく、学び方の特性を踏まえて指導し、こどもの頭をアクティブにする機会を意図的に作り出していく必要があると考えます。

本校は、一人一台の学習者用端末の環境が定着し【使ってみる】という段階から【効果的に使う】という段階に学習が進んできています。加えて、短作文など「書く力」の定着・向上を目指し、自らの考えを書いて表現することも重視して取り組んでいます。

伝統的な「読み・書き・計算」のよさを踏まえ、あえて面倒な方法も大切にして、こどもたちの頭、心、身体をバランスよく育てる学校でありたいと思います。

＜参考文献＞川島隆太氏『読み・書き・計算が子どもの脳を育てる』子どもの未来社 等



自分で考え、自分で決めて、やってみる 運動会に

先月は、学校公開にお越しくださいますありがとうございました。皆様、温かく見守ってくださったおかげでこどもたちの励みにつながりました。また、同日午後に行われた校内大掃除では、学年を超えて本校教員と保護者の方々が和気あいあいと清掃をしながら交流を深めることができました。心より感謝申し上げます。

さて、10月末は運動会を予定しています。「運動会」という成長の山に挑むために必要なことを自分で考え、頂に向かうコースを自分で決め、やってみるこどもたちを支えていきます。

保護者・地域の皆様も力いっぱい頑張るこどもたちへの応援をどうぞよろしく願いいたします。



運動会について

生活指導部 運動会担当

心を一につに 目標に向かって 限界突破!!

朝の空気に初秋の気配が感じられる頃となりました。10月25日(土)に予定されている運動会についてです。

実施方法は、昨年度同様、**午前中開催(弁当なし)**です。各学年、短距離走と団体競技(1・3・5年)、表現運動(2・4・6年)を実施します。保護者の皆様の参観につきましては、人数制限はありませんが、**来校する方全員が保護者証を着用**してください。お子様の競技の時間には、**各家庭2名のみ優先エリア**での参観ができます。参観は立ち見とし、場所取りはできません。**自転車での来校は禁止**させていただきます。今後実施方法や日時など、予定の変更がある場合は改めてご案内します。詳細は、後日配布されるお便りをご覧ください。

【日時】 令和7年10月25日(土) 午前8時35分 開始/午後12時30分 終了予定

※弁当なし

【場所】 本校 校庭

【保護者参観】 各家庭 全学年参観可(競技・演技中の学年は、優先エリアでの参観ができます。)

体育がある日は、汗拭きタオルと水筒の準備をお願いします。また、ご家庭での健康管理および朝の体調チェックへのご協力を引き続きよろしくお願い致します。

「聞くこと」から始まる令和の外国語教育

外国語担当

学校教育における英語学習は、小学校中学年から高等学校卒業まで10年間続きます。そのうちの4年が小学校です。小学校で高学年の外国語科が教科になって6年目となりますが、「小学校の外国語って、何をしているの?」「中学校の英語との違いは?」と疑問をもたれる方もいらっしゃるかと思います。小学校での外国語の学習はこれまで私たち大人が中学校や高校で受けてきたものとは大きく異なっています。

現在の小学校の外国語の授業は、まず「**聞くこと**」から始まります。コミュニケーションの中で、話されているのを聞き、「こんな意味かな?」と推測して意味をつかみます。(私たち大人が学生だった頃は、推測して意味理解をするのではなく、英語の意味を日本語にして覚える、ということが多かったと思います。)そして、次が「**話すこと**」です。自分で「こういう感じで言ったら伝わるかな?」と話してみる、ことばを使ってみる、という体験をします。先生や友達に受け止めてもらうことを通して、「通じた!」「伝わった!」という実感が得られるようにしています。この流れはまさに母語習得(日本語習得)の流れと同じで、子どもたちが小さなときに日本語を習得するために経験してきた流れです。

そして、高学年の授業では、「**聞くこと**」「**話すこと**」ができるくらい、音声に十分慣れ親しんだ表現について、文字と音を一致させることを通して「**読むこと**」を学びます。そして「**読むこと**」で慣れ親しんだ表現を書き写したり、なぞったりすることで「**書くこと**」を学んでいます。本校でも、この流れを大切に楽しく外国語を身に付けられるよう、学習をすすめていきます。



東京都教育委員会研究指定地区「デジタルを活用したこれからの学び」 研究部

本校では小平第六中学校、小平第七小学校と合同で、東京都教育委員会研究指定「デジタルを活用したこれからの学び」の研究を行っています。子どもたちの学習は、学習者用端末導入以降、更新され続けています。学習者用端末を使用するのはもはや当たり前です。現在は思考ツール(考えるためのスキル)を活用して、「考えを形成する。」「自己の学びを振り返り・蓄積することで自己の成長を調整する。」「学びのプロセスを自己決定し、学ぶ。」「一人で学んだり、協働的に学んだりを選択する。」このような『自立した学習者』を育てるために、様々な視点で、授業の改善を図っています。



学びのプロセス



個人or協働



デジタル使用



思考のスキル



学びの振り返り



学びを支える教師



他者参照





1年 😊 にこにこ 😊

生活科見学について

10月9日(木)に生活科見学を予定しています。近隣の公園まで歩いて行って秋探し(どんぐり拾いなど)をします。当日は学校で給食を食べますので、お弁当の用意は不要です。詳細につきましては、後日配布するしおりをご確認ください。

持ち物についてのお願いとお知らせ

・国語の下巻の教科書について、クラスルームに連絡がありましたら持たせていただきますようお願いいたします。

算数の持ち物についてのお願い

「かたちあそび P72~P75」で、身の回りの箱や缶などを使います。クラスルームに教科書の写真を載せますので、写真を参考にご家庭で使用した空き箱や空き缶を取っておいください。使用するのは11月上旬です。11月上旬にクラスルームで持ってくる日をお知らせします。箱や缶には必ず名前を書いて持たせてください。

図工の持ち物についてのお願い

スポンジやプチプチ、トイレットペーパーの芯などを使って、作品を作りますので、材料をご家庭で取っておくようお願いいたします。

2年ピースサイン 🍷

算数の持ち物について

「さんかくやしかくの形をしらべよう」の単元で、三角定規を使用します。2枚セットのものを購入してください。2枚とも記名をしていただき、10月6日(月)までに持たせてください。目盛りの部分が透明で見やすいものがおすすめです。

生活「もっと知りたい たんけんたい」について

グループごとに地域にある店舗等を訪問し、インタビューをさせていただき学習をします。つきましては、保護者の方に、引率のお手伝いをお願いしたいと思います。

下記の日程で行いますので、引率可能な方は、右下のQRコードより、学校支援ボランティアにご登録ください。(登録者名とふりがな、連絡先、在学中のお子様の学年・学級・お子様の名前をご記入ください。)

1クラス7か所訪問しますので、両日14名程度保護者の方が必要です。お忙しい中ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。(お子様の学級以外でも構いません。)

1・2組…11月14日(金)

3・4組…11月18日(金)

両日ともに、9:35~11:25



3年



算数「コンパス」について

11月に円と球の学習を行います。コンパスを使用します。10月14日(火)までにご用意ください。安価な壊れやすいものではなくお子様が扱いやすく丈夫なもの、操作が簡易化されたもの、鉛筆で書くもの等をご検討ください。

図工「ひげの王様」準備していただくものについて

布やボタン、ビーズ、毛糸など飾りに使う材料の準備をお願いします。10月28日(火)までにご用意ください。袋(記名したのもの)に入れて、持たせてください。



参考

4年 つぼみ 🌸

運動会について

運動会で4年生は、鳴子を持って踊ります。鳴子は学校で一括購入(教材費として集金済)しました。当日は、黒いTEEシャツを着て演技する予定です。各ご家庭で用意をお願いします。

- ・長袖、半袖、どちらでも構いません。
- ・プリントや刺繍が入っていても大丈夫です。
- ・体育着の上から着ます。

10月17日(金)までに、記名の上、学校に持たせてください。

理科見学について

11月21日(金)に、多摩六都科学館にて理科見学を実施します。詳細につきましては、11月の学校便りやしおりでお知らせいたしますが、以下の点についてご確認ください。

- ・当日は**お弁当が必要**になります。
- ・徒歩で科学館への往復をいたします。
- ・下校が15時30分頃となります。

なお、3学期に外部講師をお招きしての社会科授業を実施する予定です。

5年 GO-ON!

運動会練習に向けてのお願い

運動会で5年生は、団体競技「お助け綱引き」を行います。綱引きの際にけが防止のため、軍手を使用します。軍手(サイズが合っているもの)をご用意ください。色は問いませんが、必ず記名をお願いします。

校外学習について

校外学習の日程が確定しましたので、お伝えします。12/10(水)です。お弁当が必要になりますのでご承知おきください。近くなりましたら、しおり等を通じて詳細をお知らせいたします。

学校・ご家庭でのSDGsの取組について

総合的な学習の時間に、SDGsの達成に向けて、こどもたちがテーマと自分の取組を設定し、実践しています。ご家庭でのご協力が必要な場合には、よろしくお願いいたします。

6年



運動会「ソーラン節」の衣装について

運動会で6年生は表現「ソーラン節」を行います。本番では体育着の上からハッピを着用して演技をする予定です。

卒業アルバム撮影について

9月29日(月)にクラブ活動の写真撮影を行いました。10月22日(水)には個人写真、10月29日(水)には委員会活動の写真撮影を行います。併せて授業風景などの写真も撮影する予定です。元気に登校できるように、よろしくお願いいたします。

2学期の教材購入について

各教科で使うノートは、1学期学校で一括購入したものとマス目の大きさが同じものを各ご家庭で用意してください。また、理科の学習キット、運動会のソーラン節用にはっぴを購入する予定です。

<10月の行事予定>



※ SC欄の★印は、スクールカウンセラー（関口）の在室日です。

午前8時30分～午後4時30分 Tel:042-468-5019(教育相談室直通)



※ 予定を変更する場合があります。

日	曜	全学年 共通行事	S C	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別 時程	授業時間						
											1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1	水	都民の日				総合GT (5校時)					特別 時程	5	5	5	5	6	6
2	木	朝学習 避難訓練 放課後補充学習教室								救急救命講習		5	5	6	6	6	6
3	金	異学年交流行事 ※給食なし(弁当)										5	5	5	6	6	6
4	土																
5	日																
6	月	全校朝会					クラブ活動	クラブ活動	クラブ活動			4	4	4	5	5	5
7	火	朝学習	★									5	5	6	6	6	6
8	水						計画代表委員会 のみ6時間授業	委員会	委員会	特別 時程	5	5	5	5	6	6	6
9	木	運動会集会 放課後補充学習教室		生活科見学								5	5	6	6	6	6
10	金	朝読書										5	5	5	6	6	6
11	土																
12	日																
13	月	スポーツの日															
14	火	朝学習	★									5	5	6	6	6	6
15	水	4時間授業 (午後職員出張)						研究授業5-3 14:40下校	研究授業6-1 14:40下校	特別 時程	4	4	4	4	4	4	4
16	木	就学時健康診断 4時間授業								特別 時程	4	4	4	4	4	4	4
17	金	児童集会										5	5	5	6	6	6
18	土																
19	日																
20	月	全校朝会										4	4	5	5	6	6
21	火		★									5	5	6	6	6	6
22	水									特別 時程	5	5	5	5	6	6	6
23	木	体育集会 運動会リハーサル										5	5	6	6	6	6
24	金	朝読書						運動会前日準備	運動会前日準備			4	4	4	4	5	5
25	土	運動会 ※給食なし										4	4	4	4	4	4
26	日	運動会予備日															
27	月	振替休業日															
28	火	朝学習	★									5	5	6	6	6	6
29	水						計画代表委員会 のみ6時間授業	委員会	委員会	特別 時程	5	5	5	5	6	6	6
30	木	放課後補充学習教室 朝学習										5	5	6	6	6	6
31	金	安全指導日(11月分)										5	5	5	6	6	6
11月																	
4	火	朝学習										5	5	6	6	6	6
5	水	小中連携の日 6時間授業 14:45下校								特別 時程	6	6	6	6	6	6	6
6	木	読書旬間始 保護者懇談会(低)										4	4	6	6	6	6
7	金	保護者懇談会(中)										5	5	5	5	6	6

【下校時刻について】

○上記の予定表に下校時刻の記されていない場合は、各学年 右記の下校時刻になります。

【清掃について】

○火・水・金曜日に当番の児童が
下校時刻までの短時間でを行っています。

【補充学習教室について】

○2学期の初回は10月2日です。
対象児童は担任より連絡しています。

【通常時程】

4時間授業 13:20下校
5時間授業 14:25下校
6時間授業 15:15下校

【特別時程】

4時間授業 12:50下校
5時間授業 13:40下校
6時間授業 14:40下校

10月の避難訓練は、児童に予告なしで行います。



1 学期 学校評価 児童アンケート結果報告

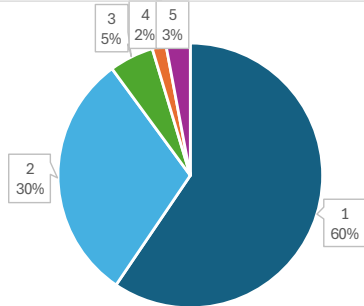
経営支援部

1 学期の学校生活を振り返り、2 学期以降の指導改善をすすめていくため、全児童を対象にアンケートをとりました。その結果についてお知らせします。アンケート結果をもとに、授業改善推進プランを作成しました。指導法を検討・改善し、2 学期以降の授業改善につなげます。

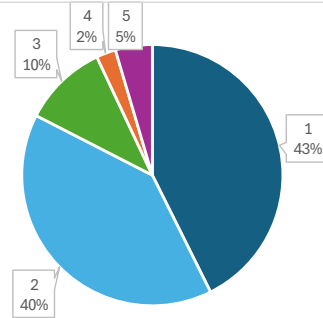
令和7年度1学期 学校評価 児童アンケートについて（令和7年7月実施）

■ 1 とてもそう思う ■ 2 そう思う ■ 3 あまりそう思わない ■ 4 そう思わない ■ 5 わからない

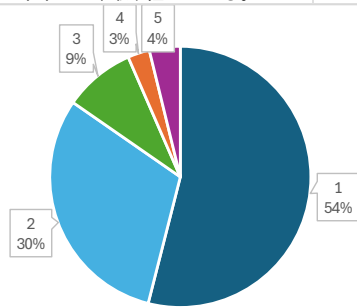
1 授業中、すすんで学習している。



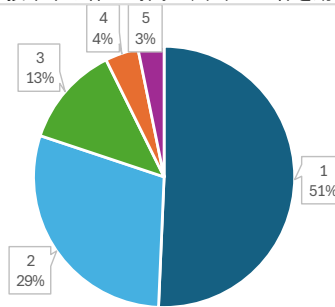
2 国語の授業中や朝学習で、文章をすすんで書いている。



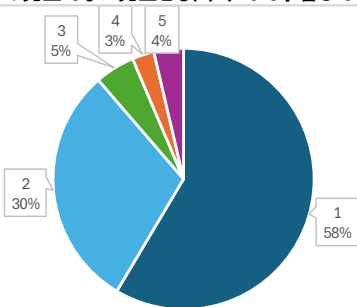
3 読書にすすんで、取り組んでいる。



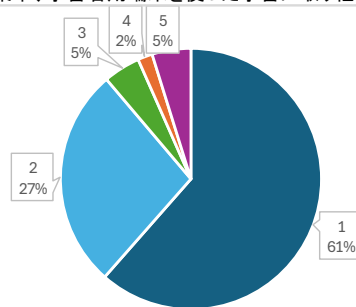
4 体育の授業中や休み時間に、すすんで体を動かしている。



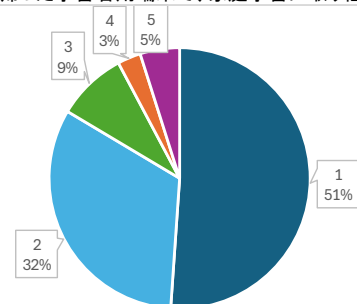
5 担任の先生でない先生とも、すすんで学習している。



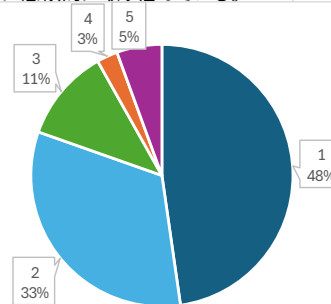
6 授業中、学習者用端末を使った学習に取り組んでいる。



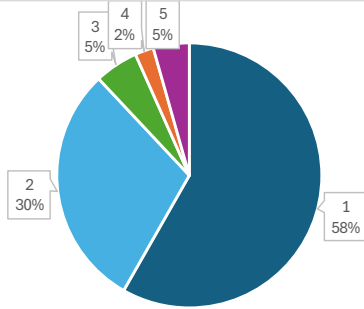
7 持ち帰った学習者用端末で、家庭学習に取り組んでいる。



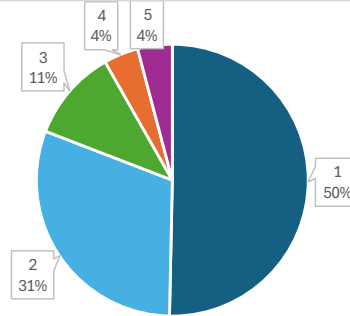
8 学級会に意欲的に取り組んでいる。



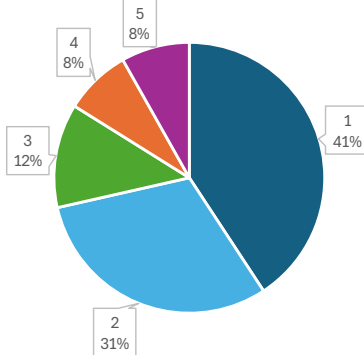
9 なかよし班活動にすすんで取り組んでいる。



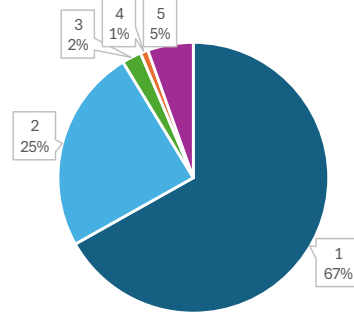
10 日頃から、先生や友達に自分からあいさつする。



11 学校で不安や悩みがあった時は、だれかに相談できる。



12 友だちに思いやりをもって接し、いじめをしないようにしている。



<考察>

○5「担任の先生でない先生とも、すすんで学習している」では、88%の児童が肯定的回答をしており、教員の取組の高さと比例して児童がよさを実感し学習していることが分かりました。

○11「学校で不安や悩みがあった時は、だれかに相談できる」では、20%の児童が否定的回答をしており、8%の児童が「わからない」と回答していることから、困り感を誰かに伝えることが難しい児童や、困っていることに気付いていない児童が一定数いることが予想されます。学校では、関連機関について情報提供したり、SOSの出し方に関する教育を行ったりしています。また、引き続き丁寧な見取りや声掛けを行っていきます。